

OJL タイムの取組

本校では、月に1回「OJL タイム」を実施しています。

※「OJL」とは、自ら「育つ」OJL (learning) を目指し、成長願望をもつ教員の実践を支援し、気付きを促すスタンスを重視すること。

- ①めあてをつかむ (何を学びたいか)
- ②自分で考える (プランを可視化)
- ③考えを高める (実践・発信・新たなプランの実践)
- ④振り返る (新たな目標を見出す)

「OJL タイム」とは、新転任者や講師の先生方が、学習指導などそれぞれの目標達成に向けて、先輩教員へ相談できる時間です。30 分間という短時間の設定ではありますが、PDCA サイクルに基づいて取り組んでいます。



自立活動・国語

文章量や生徒の身近な物に関連した教材を選定するといった、「読み」に関する具体的なアドバイスを受けました。その取組から、学習内容に関する生徒の理解度が高まってきています。



生徒の歩行指導

実際に教師自身が階段の昇り降りをしながら、補助の仕方を確認しています。一つ一つ丁寧にすることで、今後の指導に活かしています。



寄宿舎

書類等の提出の仕方や日曜宿直の業務確認など、具体的なことから寄宿舎運営を学んでいます。また、その都度相談しながら児童生徒の実態把握につとめ、生活指導に取り組んでいます。